

地方道路交付金事業（地方道路整備臨時交付金）

目標達成型パッケージの事後評価

鈴鹿市・亀山市（三重県）

地域の防災機能を強化する道路整備

事業の目的

都市周辺部において、集落と広域幹線道路へのアクセス強化を図ることにより、交安、防災等生活環境の改善を図る。

事業の効果

地域の交通利便性が向上するとともに、通学・生活道の安全性を高め、防災・消防活動に大きく寄与し、安心なまちづくりができる。

対象エリア

[実施箇所図 \[PDF 626 KB\]](#)

対象エリアの要素事業

No	路線・工区名
1	(他) 西玉垣秋永線
2	(2) 安塚地子町線 (2工区)
3	(他) 小田54号線
4	(2) 今里今福線
5	(他) 太岡寺線
6	(2) 小野会下線
7	(他) 山下24号線
8	(他) 辺法寺9号線
9	(他) 太岡寺5号線
10	(2) 布気小野線
11	(2) 布気小野線 (2工区)
12	(他) 道野太岡寺3号線外1線
13	(他) 汲川原橋徳田線 (4車線化)

成果目標

集落から幹線道路へのアクセスが整備された世帯数の増加

幹線道路へのアクセス が整備された世帯数	当初現況値(H17)	目標値(H19末)
	15,100世帯	16,900世帯

整備状況

13路線ある要素事業のうち、10路線がH19末までに完成いたしました。

完成路線

・小田54号線	鈴鹿市小田町	(L=0.27km)
・今里今福線	亀山市小川町	(L=0.20km)
・太岡寺線	亀山市大岡寺町	(L=0.28km)
・小野会下線	亀山市小野町	(L=0.15km)
・山下24号線	亀山市山下町	(L=0.35km)
・辺法寺9号線	亀山市辺法寺町	(L=0.48km)
・太岡寺5号線	亀山市大岡寺町	(L=0.27km)
・布気小野線	亀山市小野町	(L=0.05km)
・布気小野線(2工区)	亀山市布気町	(L=0.05km)
・道野太岡寺3号線外1線	亀山市大岡寺町	(L=0.63km)

事業継続路線

・西玉垣秋永線	鈴鹿市白子町～鈴鹿市稲生4丁目	(L=1.15km)
・安塚地子町線(2工区)	鈴鹿市安塚町	(L=0.56km)
・汲川原橋徳田線(4車線化)	鈴鹿市国府町～鈴鹿市徳田町	(L=3.53km)

整備事例

【小田 54 号線】

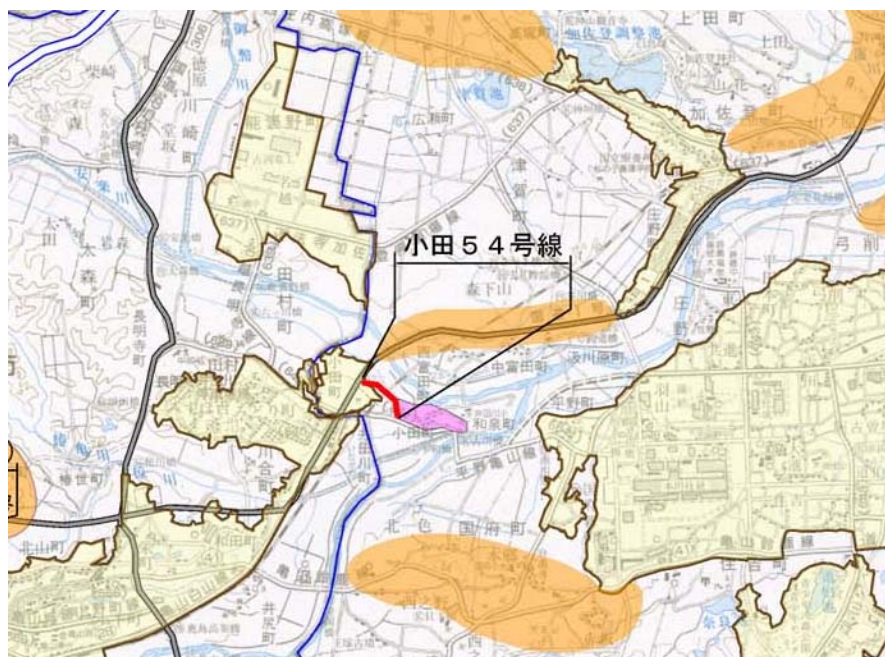
事業箇所名：鈴鹿市小田町 事業期間：平成 16 年度～平成 18 年度

工事概要：跨線橋架設工事

事業の目的：道路幅員が 2 m と狭隘であり、車での通行が不可能であった跨線橋を架け替え、周辺地区から国道 1 号線へのアクセス向上を図る。

整備効果：車での通行が可能である跨線橋の完成により、周辺地区から国道 1 号線へのアクセスが良好になりました。

位置図



事業前



事業後



①



②

【太岡寺線】

事業箇所名：亀山市太岡寺町 事業期間：平成17年度～平成18年度

工事概要：跨道橋・跨線橋架設工事

事業の目的：太岡寺町の人家連担区域と神辺小学校（市立）、神辺保育園（市立）、神辺地区コミュニティーセンター等の教育、公共施設とを結ぶ生活道路の立体交差化を図る。

整備効果：生活道路である太岡寺線を国道1号及びJR関西本線と立体交差化することで、通学、通園者を含めた利用者の利便性及び安全性の確保が図れた。

位置図



事業前



事業後



【道野太岡寺3号線外1線（スマートIC）】

事業箇所名：亀山市太岡寺町

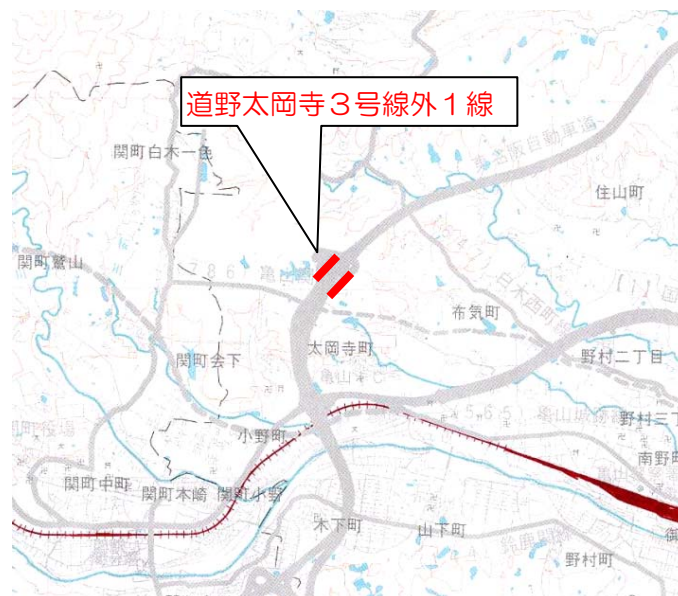
事業期間：平成19年度～平成19年度

工事概要：道路改良工事

事業の目的：工業団地開発に伴って予想される市西部地区における交通量増加に対応するため、亀山スマートICから亀山工業団地へのアクセス道路の整備を図る。

整備効果：亀山スマートICから亀山工業団地へ直接アクセスさせることによりアクセス時間が短縮されるとともに、国道1号の渋滞緩和が図られる。

位置図



事業前



事業後



成果目標（アウトカム目標）の達成状況

幹線道路へのアクセスが整備された世帯数	当初現況値(H17)	目標値(H19末)	実績値(H19末)
	15, 100 世帯	16, 900 世帯	16, 450 世帯

- ・ 幹線道路へのアクセスが整備された世帯数の増加がありました。
- ・ 小田 54 号線について、整備前の跨線橋は道路幅員が 2 m と狭隘で耐震性にも問題があったため、車での通行ができませんでしたが、架け替え後（整備後）は道路幅員が 5 m となり、耐震性も強化されたため、車での通行が可能になりました。
- ・ 太岡寺線について、国道 1 号及び JR 関西本線と立体交差化したことで、利用者の利便性及び安全性を確保でき、災害時の代表避難所に指定されている小学校への地域住民の避難誘導路の確保が図れた。

事後評価（達成度の報告）

対象エリアの事業について、概ね計画どおり進捗が図れ、幹線道路へのアクセスが整備された世帯数の増加がありました。用地難航により一部計画どおり進捗が図れなかった事業もありました。

用地買収難航箇所の早期解決に取り組み、道路整備を推進します。